

不祥事防止への取り組み

取手市立藤代中学校
校長 岡 崎 学

教職員による不祥事は、生徒、保護者、地域の方々の学校教育への信頼を著しく低下させる原因となっており、なんとしても根絶しなければなりません。そこで、本校では不祥事根絶に向けたコンプライアンスと厳正な校務執行のための教職員の意識改革や職場風土の改革をすべく、下記のように取り組んでいます。

記

- 1 不祥事根絶をテーマとした全教職員による校内研修を実施しています。

不祥事は、体罰、セクハラ・パワハラ、飲酒運転、個人情報取扱、金銭の取扱、わいせつ、交通事故等々多岐にわたります。これらの各事案について、全教職員が自分事とし徹底して未然防止に努めるよう、別紙の「校内コンプライアンス研修年間計画」に基づき、定期的または適宜、研修を行っています。

研修方法については、県教委からの通知文や事例等を活用し、動画視聴やグループ討議、ロールプレイング等の手法を取り入れるなど、より教職員の心情に迫るものとしています。また、管理職によるトップダウン型の研修ばかりでなく、ミドルアップダウン型やボトムアップ型の研修を実施することで、教職員一人一人が当事者意識や法令遵守の意識を高められるようにしています。

- 2 不祥事関連の通知文や記事等を活用し様々な事例を全教職員で共有しています。

不祥事の内容と対象職員の処分内容等について、県教委や市教委からの通知文や記事等をもとに、全教職員が自分自身や自校の問題に置き換えて考え、具体的な防止策を職員会議や研修会で話し合っています。

- 3 管理職による教員評価面談や同僚性の構築を重視し、教職員一人一人に寄り添うとともにチームの一員であることの自覚や安心感を醸成しています。

教職員のストレスや個人的な悩みが不祥事の要因にならないよう、管理職が教員評価の面談や日頃の面談を通して、解決法を助言したり相談にのるなど、教職員に寄り添った支援をしています。また、同僚性の構築により仲間の違和感に気付いたり、悩みを一人で抱え込まず気軽に相談したりできる温かみのある職場環境づくりに努めています。

藤代中学校の全教職員が一丸となって不祥事根絶に取り組めます。そして、生徒、教職員一人一人が笑顔溢れる学校生活を送れるよう邁進していきます。さらに、保護者や地域の方々に信頼される学校づくりに全身全霊で取り組みます。